

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
デザイン研究 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	鶴田 勇一			実務経験	有	職種	グラフィックデザイナー				
授業概要											
新旧の注目された広告を題材にグラフィックデザインの手法を使って、どのようにコミュニケーションを展開しようとしたのかを、授業の中で皆で考えます。また、消費されていく宿命の広告が時代の空気をどのように取り込んでいたのかも考えてみます。											
到達目標											
作り手としての目線に、生活者からの目線という観点から広告を考えて見ます。 広告コミュニケーションの手法を分類し、社会の「今」とデザイナーとして向き合う姿勢を持てるようになる。											
授業方法											
毎回授業のテーマに沿って解説をします。その後、その日の授業の内容を踏まえて、個々の考察をレポートにして提出します。											
成績評価方法											
レポートの内容 平常点	80% 内容を総合的に評価する 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する										
履修上の注意											
授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。											
教科書教材											
配布資料がある場合は授業内に配布します。											
回数	授業計画										
第1回	同じ商品のパッケージデザイン比較①										
第2回	同じ商品のパッケージデザイン比較②										
第3回	特別な日の広告① 3/11 の新聞広告の比較										
第4回	特別な日の広告② 3/11 の新聞広告の比較										
第5回	特別な日の広告③ 4/1 の新聞広告の比較										
第6回	特別な日の広告④ 4/1 の新聞広告の比較										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
デザイン研究2	
第7回	過去の広告からコミュニケーションの意図を考察①
第8回	過去の広告からコミュニケーションの意図を考察②
第9回	TVコマーシャルのメッセージとその時代背景を考察①
第10回	TVコマーシャルのメッセージとその時代背景を考察②
第11回	広告とキャッチコピー①
第12回	広告とキャッチコピー②
第13回	編集：雑誌デザイン①
第14回	編集：雑誌デザイン②
第15回	コミュニケーショングラフィックについて考察